

# げんでんつるが



今回は、敦賀発電所の状況と、地域の皆さまとのコミュニケーション活動の一環として行っている訪問対話活動についてお知らせします。



敦賀発電所

2023年3月  
第58号

日本原子力発電株式会社

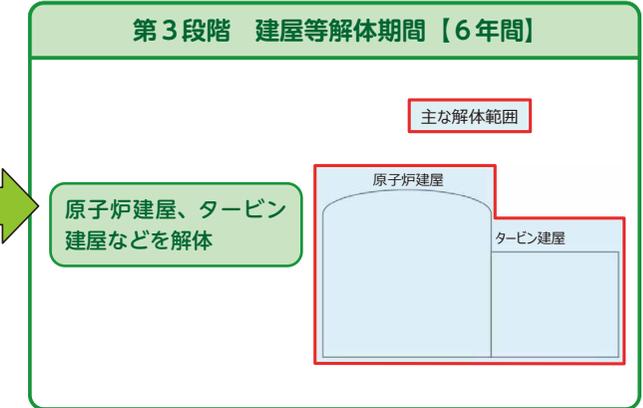
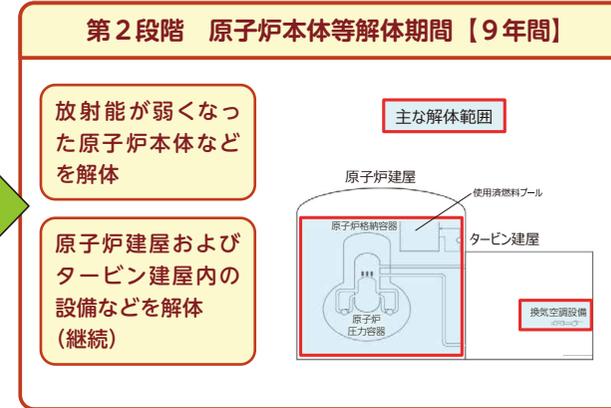
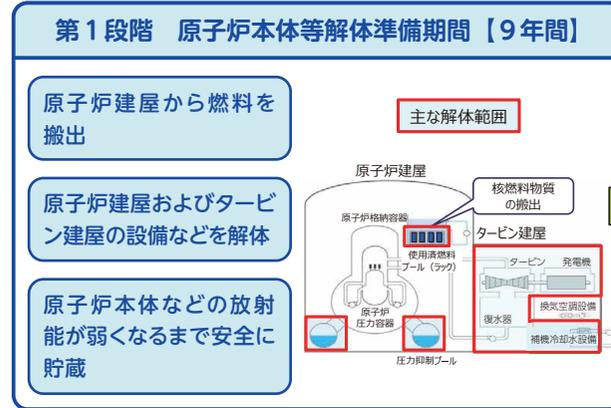
## 敦賀発電所 1号機の状況（廃止措置中）

2017年5月～廃止措置中\*（廃止措置期間：24年）で、クリアランス制度を活用しながら安全を最優先に廃止措置を行ってまいります。

◇現在は、第1段階の解体・撤去工事を実施しています。



敦賀発電所 1号機



\*：運転を終了した発電所を解体・撤去し発生する廃棄物を処理・処分して更地にするまでの一連の作業・措置のことです。

## 至近に解体した設備・機器の一例

### 〔補助ボイラー建屋〕



撤去前

補助ボイラー建屋



補助ボイラー建屋撤去後

補助ボイラー

### 〔タービン補機冷却系熱交換器〕



撤去前



撤去後

### 〔クレーン装置〕



撤去前



撤去後

## 敦賀発電所 1号機の解体廃棄物の割合

放射性廃棄物でない廃棄物（約90%）

放射性廃棄物（約6%）

クリアランス制度対象物（約4%）

## クリアランス制度とは

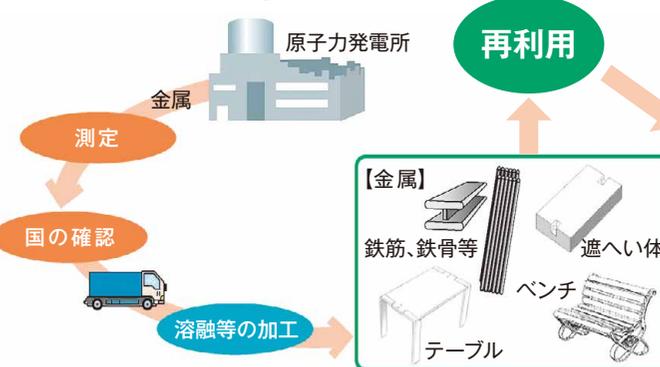
原子力発電所の解体などで発生する廃棄物には、放射能レベルが極めて低く、人の健康に対する影響が無視できるもの\*は、国の許可・確認を得て、普通の廃棄物同様に処分することができる制度です。

このクリアランス制度を活用することにより、廃棄物を資源として有効にリサイクルしたり、一般の廃棄物として処分することができ、放射性廃棄物の処分量を減らすことができます。

\*年間0.01ミリシーベルトと定められており、私たちが自然放射線から受ける放射線量の1/100以下

## クリアランス制度の運用

〔クリアランスの概略フロー〕



## 【当社の取り組み】

当社も、東海発電所で発生した金属などのクリアランス対象物は、溶融等を行って加工し、主に、東海発電所、敦賀発電所、原子力関係機関等で活用し、理解活動に努めています。

〔クリアランス制度により再利用した製品の一例〕



【ベンチ脚部】

【テーブル脚部】

【敷きブロック】

【侵入防止ブロック】

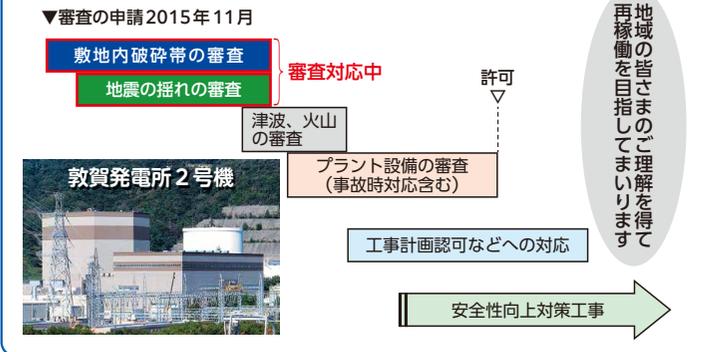
〔福井県内には、関係機関等にベンチを20脚配備させていただいています。〕  
（2023年3月現在）

## 敦賀発電所2号機の状況（安全審査（適合性確認審査）の状況）

2011年8月29日～第18回定期検査中

◇福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策及び再稼働に向けた新規規制基準\*への適合性確認審査（安全審査）の対応を行っています。

### 安全審査対応等の流れ（イメージ）



※東京電力㈱福島第一原子力発電所の事故の反省や国内外からの指摘を踏まえて、原子力規制委員会が原子力施設の設置や運転等の可否を判断するため、従来の安全基準を強化（テロ対策の新設や自然災害対策を大幅に強化等）した新たな規制基準のことであります。

◇安全確保のため、設備の計画的な点検・保守など保全活動を継続しています。

### 発電所員による点検・パトロールの様子

プラントの停止中も、機能が求められる機器等について、日常の点検やパトロールにより健全性の確認を行っています。



点検・パトロール

◇万が一に備えた各種訓練を定期的実施しています。

### 各種訓練の様子（一例）

緊急時に原子炉を冷やすための冷却水注入ポンプなどの電源確保訓練や発電所内での負傷事故に対応するための応急処置訓練などを継続しています。



電源確保訓練

応急処置訓練

## 敦賀発電所3,4号機計画



敦賀発電所3,4号機は、現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理などの建設予定地維持管理を継続するとともに、福島第一原子力発電所事故の教訓の反映や既設発電所の審査状況も踏まえて、より一層、安全性、信頼性の高い発電所にするための検討を継続しています。

## 訪問対話活動

地域の皆さまとのコミュニケーション活動の一環として、敦賀市内全戸を中心とした訪問対話活動を定期的に行っています。

今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、敦賀市全戸への訪問を控え、11月中旬から12月中旬にかけて、敦賀市の区長さま並びに県内近隣町区長さまのお宅\*を訪問して、当社の事業活動や発電所の状況について説明させていただくとともにご意見等をお伺いしました。

また、敦賀市のお宅に新聞折込みにて資料を配布させていただきました。

### ◆◆◆ 主なご意見等 ◆◆◆

- ・敦賀発電所2号機の安全審査が再開となって良かった。1日も早い再稼働を願っている。
- ・新規規制基準の安全審査に適合するよう、的確な取り組み、対応をお願いします。
- ・温暖化（脱炭素）が懸念。資源が乏しい国だからこそ、原子力は必要。
- ・原子力発電所は、高レベル放射性廃棄物の処理が課題である。
- ・福島第一原子力発電所事故の様な事を目の当たりにすると、不安になる。
- ・“原子力発電”の理解を深めるためには、若い世代への理解活動が必要。など

「皆さまからたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。」  
「当社は、今後とも安全確保を最優先に敦賀発電所の運営に努めてまいります。」

※訪問戸数：敦賀市内全区長さま131戸

県内近隣町区長さま311戸（越前町、南越前町、美浜町、若狭町）



訪問対話活動の様子



説明・新聞折込み資料

## 敦賀原子力館企画見学会のご案内

ご見学にあたり、交通手段がない10名以上の団体様へは、当社がバスを手配（バス代：原電負担）します。



敦賀原子力館



### 【見学できる当社施設】

敦賀原子力館、敦賀発電所3,4号機建設予定地、美浜原子力緊急事態支援センターが見学できます。

また、その見学バスで、ご希望に合わせて、他施設（景勝地、温泉、レジャー施設など）の立ち寄りもできますので、お気軽にご相談ください。



詳しくは、以下にご相談ください。

### 《敦賀原子力館》

敦賀市明神町1番地

フリーダイヤル：0120-44-9006

開館時間：9:00～16:00

定休日：毎週火曜日（祝日の場合は翌平日）

年末年始（12月29日～1月3日）

# 日本原子力発電株式会社 敦賀事業本部 立地・地域共生部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713（土日祝日を除く9時～17時）

敦賀発電所に係る情報については、当社ホームページに掲載しています。（<http://www.japc.co.jp>）